証券コード 9432



日本電信電話株式会社 会社説明会

2016年8月

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

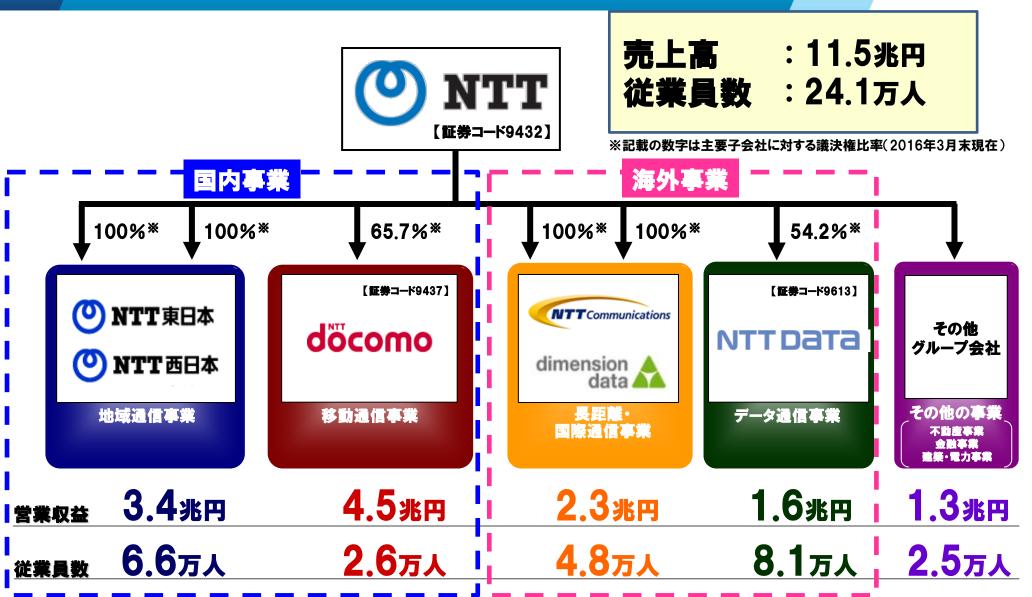
また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

- ・イントロダクション
- ・グローバル・クラウド事業
- ・国内ネットワーク事業
- •2020に向けて
- 。株主還元

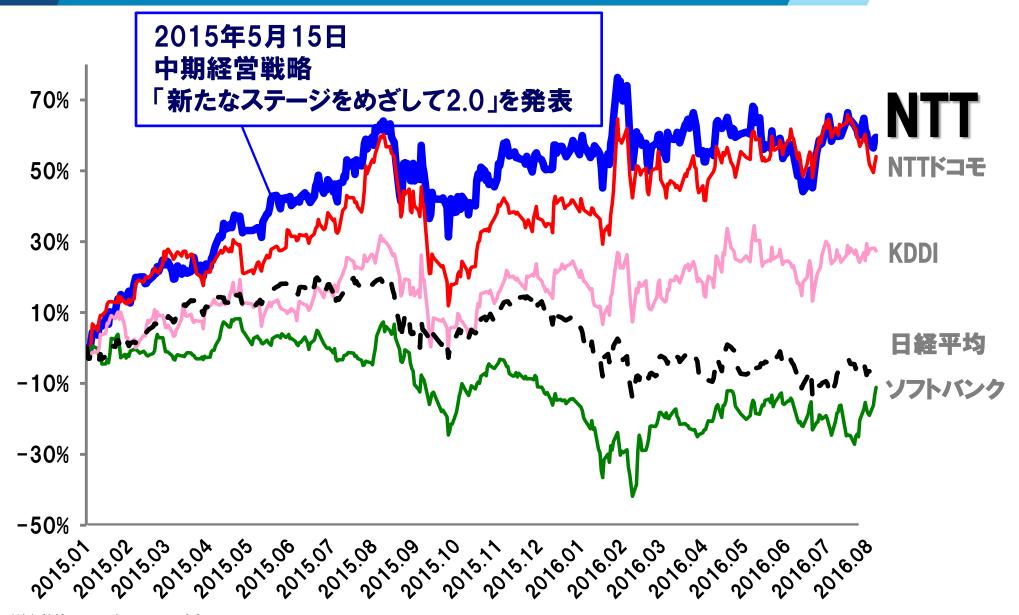
NTTグループの体制





NTT株のパフォーマンス(昨年初来の株価推移)







目標年度

EPS成長

中期経営戦略「新たなステージをめざして 2.0」

2018/3期

400円以上



目標年度

海外売上高 海外営業利益

設備投資

コスト削減

(固定/移動アクセス系)

中期経営戦略 「新たなステージをめざして 2.0」

2018/3期

220億ドル 15億ドル

▲2,000億円以上

(国内ネットワーク事業) [対2015/3期]

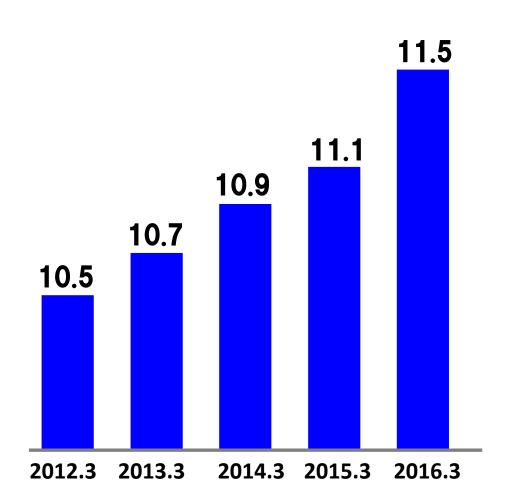
▲8,000億円以上

[対2015/3期]

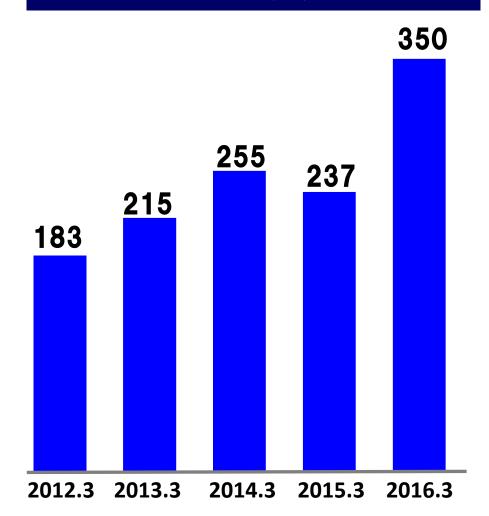
直近の業績推移



営業収益(兆円)



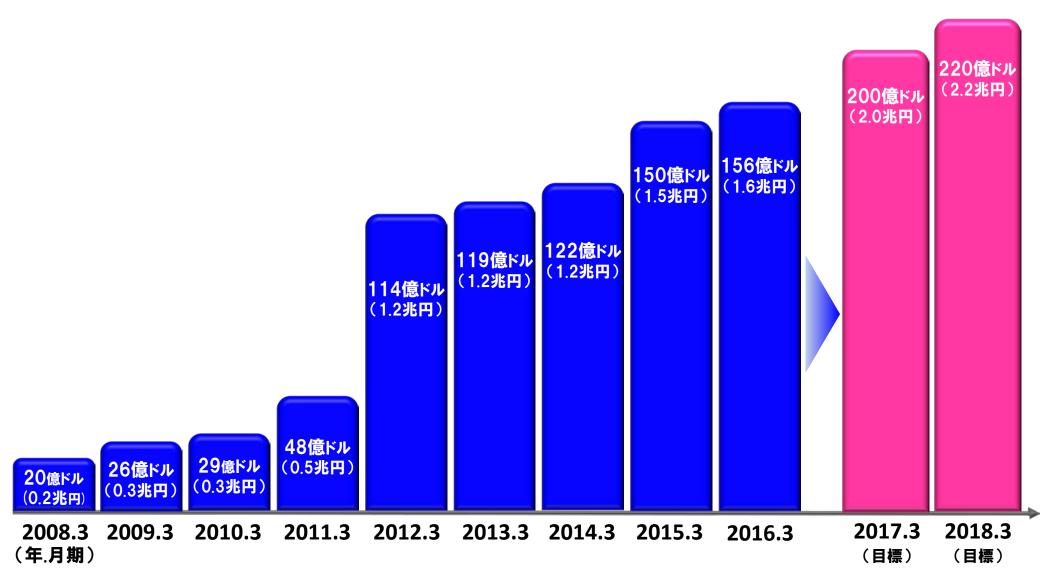
EPS(用)



- ・イントロダクション
- ・グローバル・クラウド事業
- ・国内ネットワーク事業
- •2020に向けて
- 。株主還元

グローバルビジネスの売上高





※日本円は2016年7月29日時点のレート(102.05円)を基に算定



サービスレイヤ

フルスタック&フルライフサイクル インフラからアプリケーションまで、コンサルティングから保守・運用まで

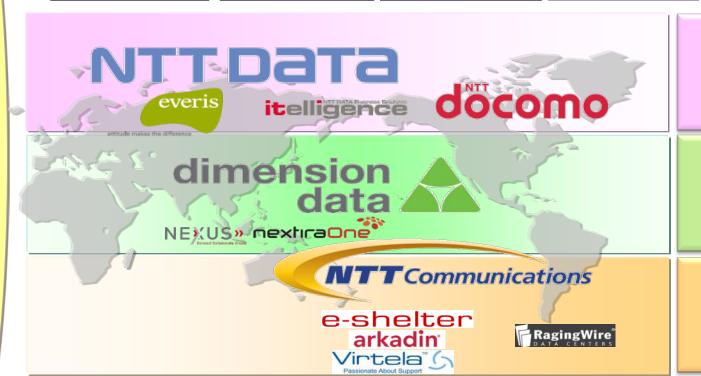
クラウドサービス

アドバイザリー サービス

ユーザ企業

移行サービス

運用 サービス マネジメントサービス



アプリケーションソリューション

マネージドICT

データセンターネットワーク

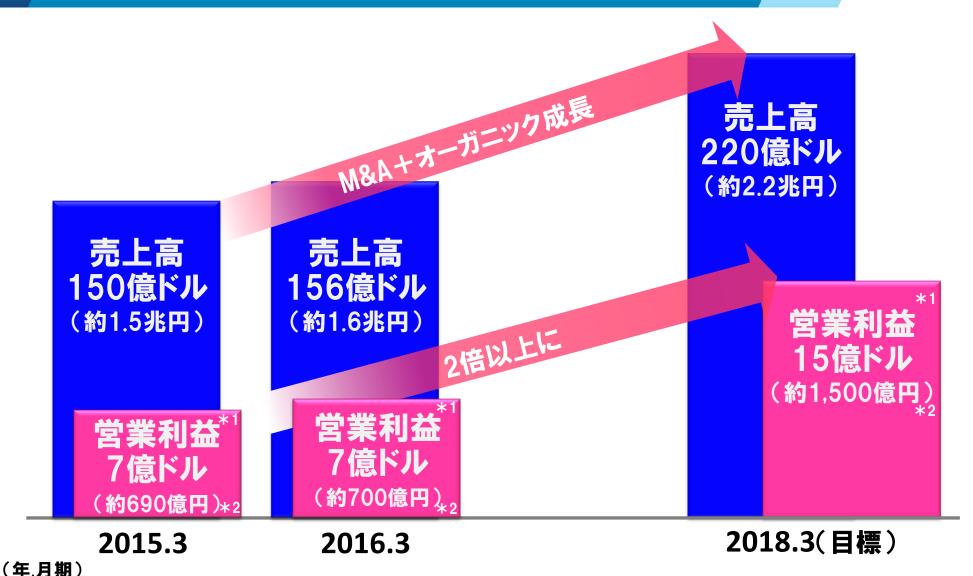
NTT Security

R&D



海外売上高/営業利益





*1 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

*2 日本円は2016年7月29日時点のレート(102.05円)を基に算定

主なクラウドサービス受注実績





2014/3.1Q

NTT Data dimension Solutionary

テキサス州交通局

2014/3. 4Q



ヘルスケアメーカー

2014/3. 4Q

NTTOATA dimension

重工業メーカー

2015/3. 4Q

NTTOATA



酪農業

2016/3. 1Q

NTT Data dimension

医療機器メーカー

EMEA(欧州・中東・アフリカ)

2014/3. 3Q





消費財メーカー

2015/3. 1Q

NTT DATA



英国財務省

2015/3.3Q

dimension A



非鉄金属

2016/3. 1Q

NTT Data dimension



医療機関

2016/3. 4Q

dimension NTT Data



製造業

日本

2014/3.3Q





全日空

2015/3. 2Q





金融機関

APAC(アジア太平洋)

2014/3. 2Q

dimension A



2016/3. 4Q



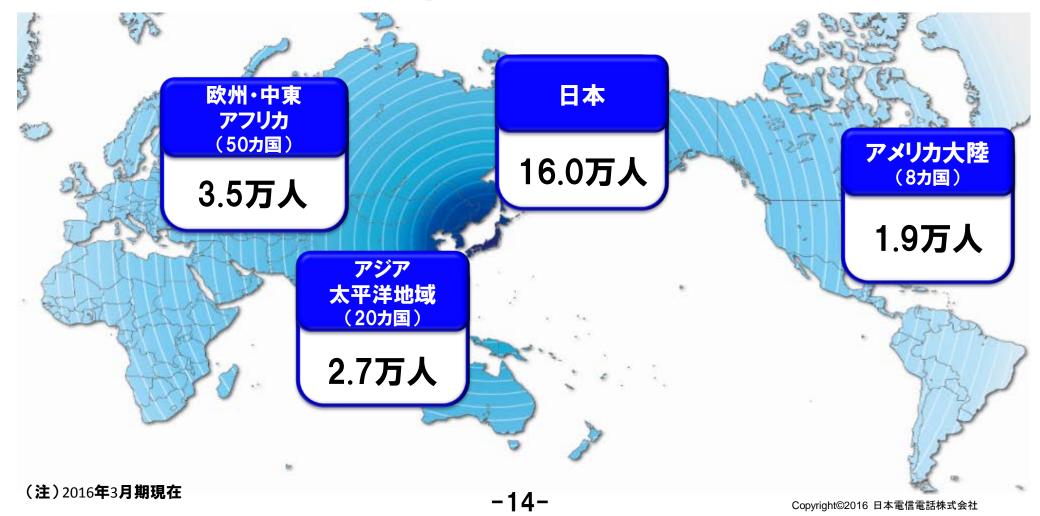


金融機関

グローバル企業への転換



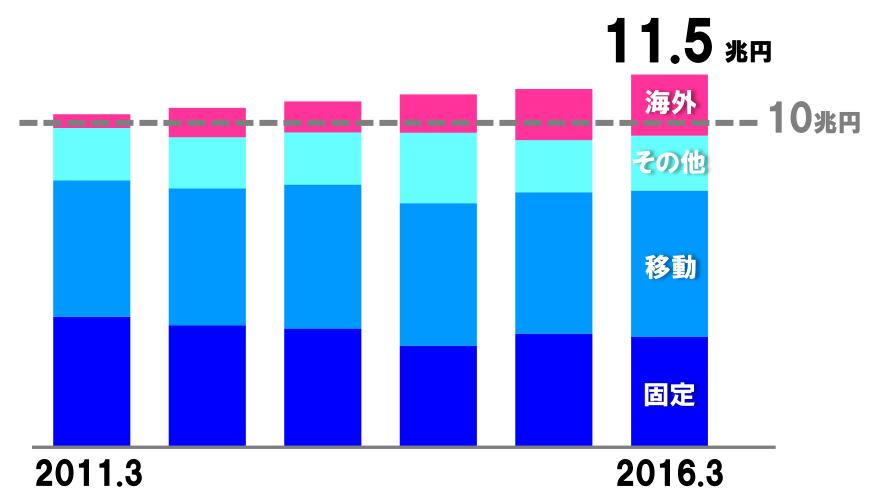
サービス提供: 196の国・地域 全従業員の約34%が海外で勤務



- ・イントロダクション
- ・グローバル・クラウド事業
- ・国内ネットワーク事業
- •2020に向けて
- 。株主還元



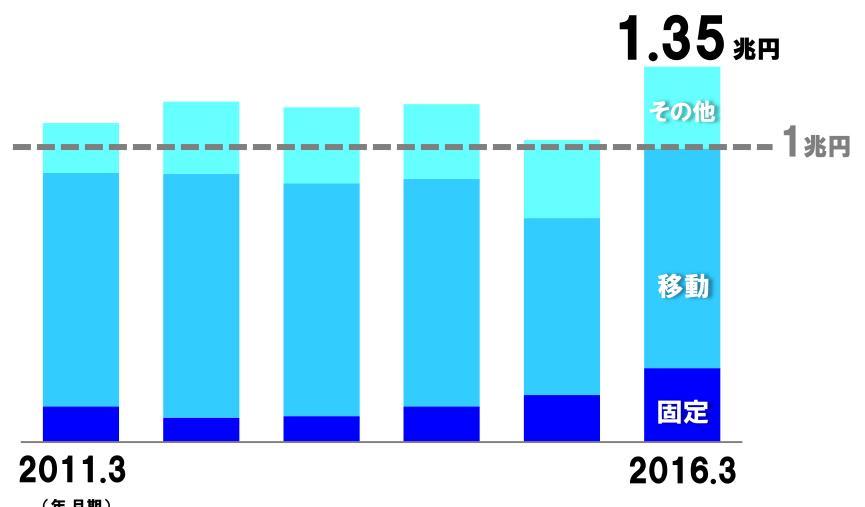
安定した10兆円規模の営業収益



(年.月期)

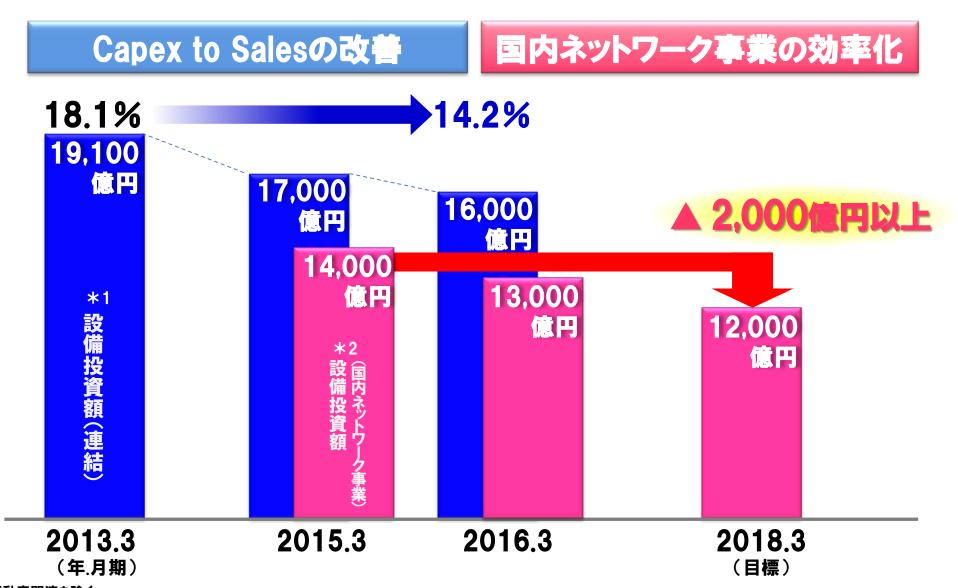


1兆円以上の利益創出



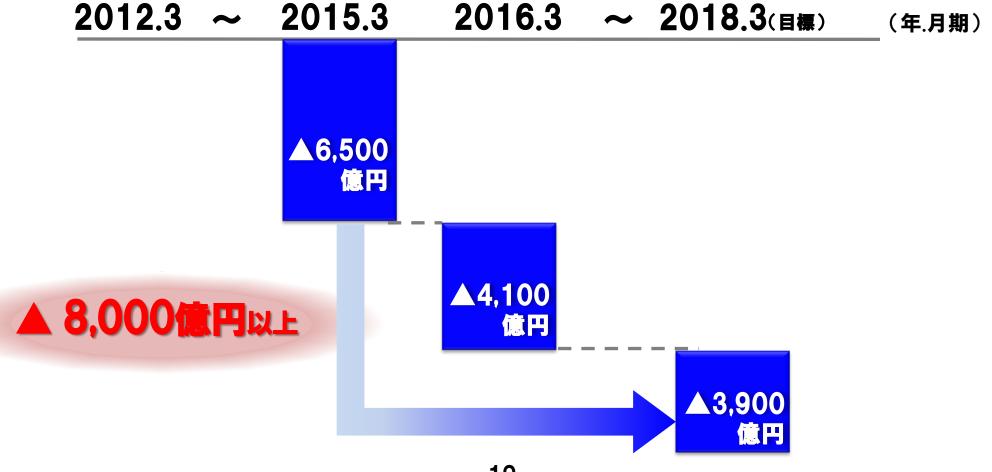
設備投資の効率化







固定/移動アクセス系で8,000億円以上削減



「光コラボレーションモデル」



- O NTT東日本
- O NTT 西日本

光サービス

卸サービス提供

docomo

ドコモ光 × モバイル

「光コラボレーションモデル」



***2**

光サービス事業者 約400社

光サービス卸

契約数約600万契約

NTT東日本 NTT西日本

フレッツ光

FLET'S 光 フレ"I"I光

サービス事業者

自社サービス

光サービス

ワンパッケージ での提供

> 新たな 価値創造

G

お客様

お客様の利便性の向上

光サービス小売

- *1 2016年7月末時点
- *2 2016年6月末時点



ライフステージに合わせて選べる料金プラン

・長期ユーザにお得な料金

ずっとドコモ割



・お客様のご利用に合わせた料金

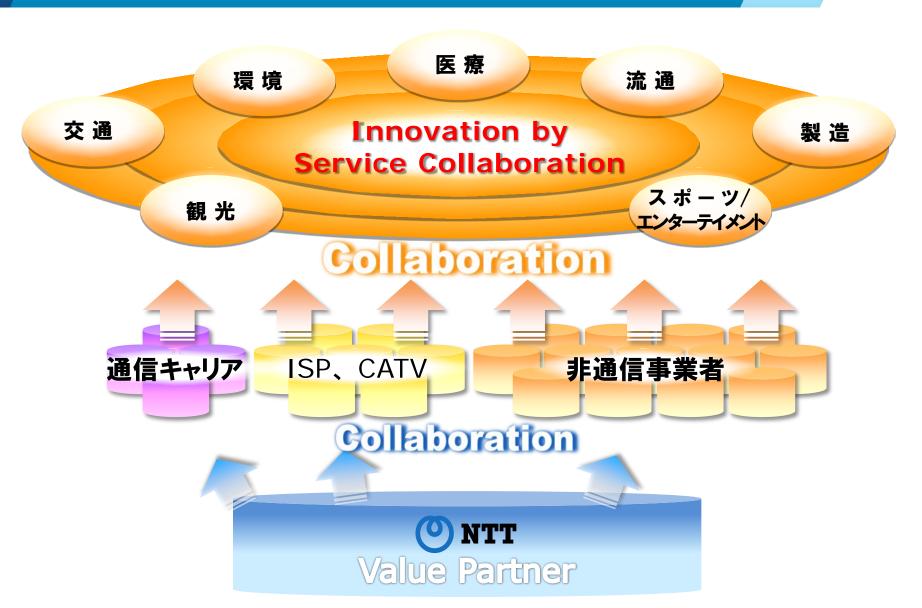
ご利用の少ないお客様の選択肢拡充等 シェアパック5の追加、<u>カケホーダイライト</u>の適用拡大

(家族で5GBを分け合える)

(2,700円→1,700円)

「光コラボレーションモデル」





- ・イントロダクション
- ・グローバル・クラウド事業
- ・国内ネットワーク事業
- ・2020に向けて
- 。株主還元

クラウド×IoT×AI×Bigdata







社会的課題の克服×産業競争力の強化

製造、自動車、医療、地方自治体、etc.・・・

オープン & コラボレーション

2020×地域創生の取り組み



地域とつながるスポーツ産業の発展

Jリーグ/DAZN 協業契約(2016/7/20)

持続可能な都市インフラの整備・構築支援

日立 業務提携(2015/10/1)



札幌市

包括連携協定 (2015/9/16)



福岡市 包括連携協定(2015/4/14)

九州経済連合会 Free Wi-Fiプロジェクト開始 (2015/6/5) 映像サービスの革新 と ユーザエクスペリンスの進化

パナソニック

業務提携(2015/6/17)

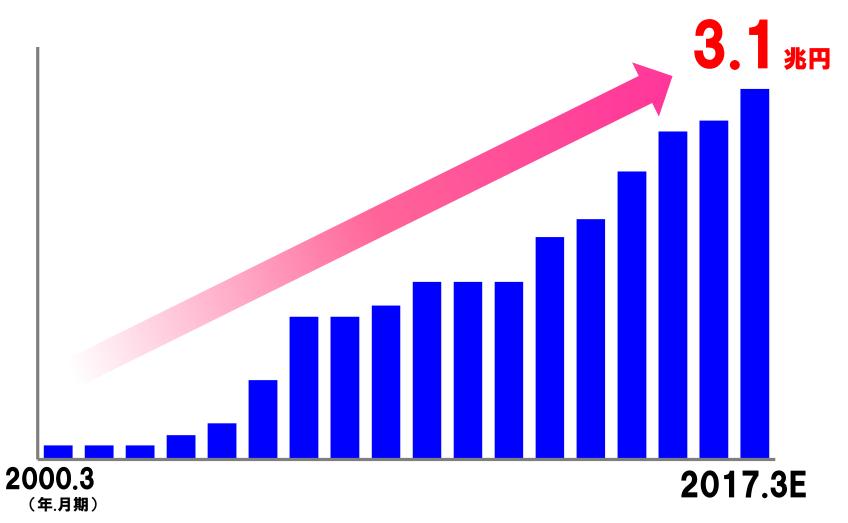
※グループ各社も個別分野の連携協定を締結

- ・イントロダクション
- ・グローバル・クラウド事業
- ・国内ネットワーク事業
- •2020に向けて
- ・株主還元

自己株式取得の推移



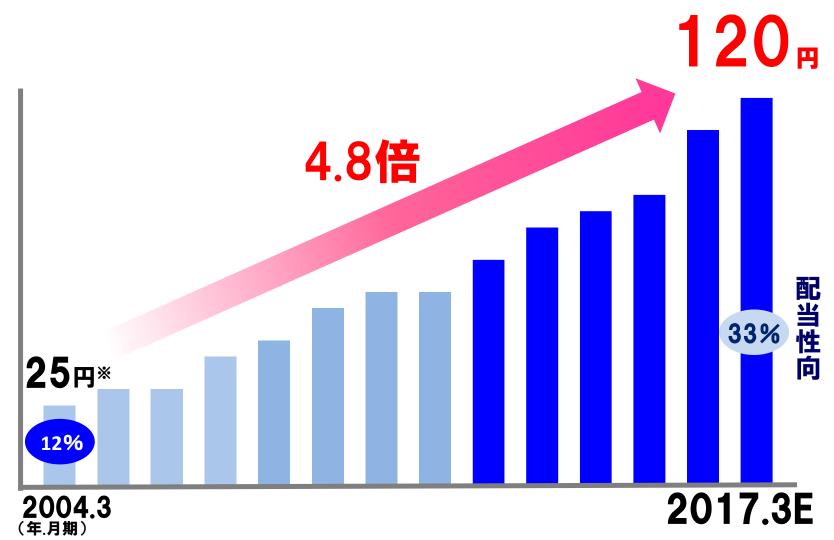
累計3.1兆円の自己株式取得



配当金と配当性向の推移



6期連続増配





高い配当利回り

日本国債10年利回り

A0.1%

東証1部平均 配当利回り

1.9%

NTT株 配当利回り 2.5%

^{*1} 財務省公表「国債金利情報」(2016年8月10日)を基に算出 *2 2016年8月10日時点の株価を基に算出 *3 数値は2016年5月13日公表の業績予想ベース、株価は4,864円(2016年8月10日終値)で算定

Next Value Partner

for

ransformation

of Business models and Lifestyle

by

rusted Solutions

of Global, Secure, End-to-end, and Full-line ICT services